

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 748 号
2023年10月1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

第58回アスカ・セミナー 10月13日(金)開催決定

アスカ工業(株)は、昭和39年の秋に第1回アスカ・セミナーを開催して以来、コロナ禍の2年を除き秋の年中行事として毎年開催して参りました。

今年は下記の通りに開催致します。

- ・日時 10月13日(金曜日)
- セミナー 16時~17時
「アフターコロナ時代の中国を考える」
講師 (株)タクトトレーディング
会長 上島 隆氏

- 懇親会 17時半~19時半
- ・会場 西尾コンベンションホール
西尾市花ノ木町4丁目64番地
名鉄西尾駅前(写真下)

昨年、一昨年と2年連続で秋から年明けにかけてのシリコン価格の暴騰は記憶に新しいところです。アルミ合金の添加材として重要なシリコン(Si)やマグネシウム(Mg)の大半を担う中国生産量、輸出量の動

向は気になります。

今回は、長年中国貿易に携わってきた(株)タクトトレーディングの会長 上島隆氏に中国経済の現状分析と今後の動向を占って頂きます。

皆様のお越しをお待ちしております。



2023年生産 上半期

アルミ鋳物・ダイカスト 2年ぶり増加

経済産業省がこのほど発表した今年上半期（1～6月）の生産動態統計による生産量は下記の通りでした。

- ・アルミニウム鋳物 189,000トン
- ・アルミニウム・ダイカスト 449,000トン

アルミ鋳物、アルミダイカストともに上半期として2年ぶりに前年実績を上回りました。ただ、新型コロナ発生前の2019年の実績には及ばず、19年同期比、アルミ鋳物は13%減、アルミダイカストは12%減でした。

アルミニウム鋳物

主力の自動車用が7%増の17万6千トンでプラス

に転じましたが、その他の輸送機械は7%減の4千3百トン、その他は14%減の4千4百トンでともに2年連続で前年同期を下回りました。

アルミニウム・ダイカスト

自動車の生産回復を反映して、自動車向けが6%増の39万8千トン、二輪車向けも1%増の1万6百トンでともに2年ぶりに増加しました。

一般機械は5%減の1万4千トン、電気機械は6%減の7千7百トンでともに2年連続のマイナスでした。その他は5%増の1万8千トンで3年連続して増加しました。

5月生産

アルミ鋳物 ダイカスト ともに増加

経済産業省がこのほど発表した5月の生産動態統計によれば、アルミニウム鋳物の生産量は前年同月比21.9%増の28,819トン、ダイカストは20.6%増の68,550トンでした。主力の自動車向けが回復して、鋳物・ダイカストともに3ヶ月連続で前年同月を上回りました。

鋳物は自動車向けが25%増の26,928トンで4ヶ月連続のプラス、その他の輸送機械は1.5%増の694トンと5ヶ月ぶりに増加に転じました。

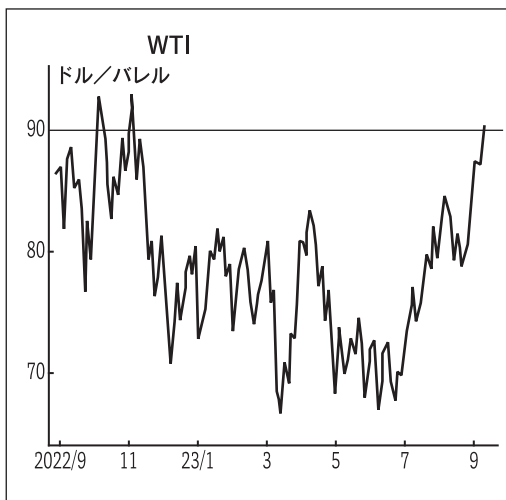
ダイカストの自動車向けは22.9%増の60,608トンで3ヶ月連続のプラス、二輪は1,625トンの10.9%増でしたが、一般機械は10%減、電気機械は0.7%減とともに8ヶ月連続で減少しました。

5月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ鋳物	<u>28,819</u>	(121.9)
② 一般機械	508	(83.5)
③ 輸送機械	27,623	(124.3)
④ その他	687	(86.0)
⑤アルミ・ダイカスト	<u>68,550</u>	(120.6)
⑥ 一般機械	2,210	(90.0)
⑦ 電気機械	1,249	(99.3)
⑧ 自動車	60,608	(122.9)
⑨ 二輪車	1,625	(110.9)
⑩ その他	2,857	(112.2)

原油 10ヶ月ぶりの高値90ドル台



原油価格の上昇が続いています。米国市場では、国際原油指標のWTI（ウエスト・テキサス・インターミディエート）先物が、バレル90ドル台をつけ、約10ヶ月ぶりの高水準となりました。

この価格はロシアのウクライナ侵攻で原油供給の寸断への懸念が高まった2022年を除けば、14年以來、9年ぶりの高水準となります。

サウジアラビアとロシアの減産継続の方針を受け、国際エネルギー機関（IEA）は23年10～12月の世界供給見通しを日量50万バレル引き下げました。

一方で需要は堅調です。IEAは23年の世界需要は前年に比べ日量220万バレル増えて過去最高になると予想しています。製錬時に大量の電力を必要とする非鉄金属の国際価格への影響も心配されます。

アルミスクラップ 輸出増加

財務省が発表した貿易統計によれば、6月のアルミ缶スクラップの輸出は、5,489トンと前年同月比7.1%増加しました。アルミ缶以外のアルミスクラップは33,441トンと前年同月比では15.1%減少しましたが、4月に続き今年2番目の高水準でした。

7月の貿易統計によれば、アルミ缶スクラップの輸出量は32.2%増の6,560トンと2022年10月以來の高水準でした。

また、アルミ缶以外のアルミスクラップの輸出量も前年同月比29.0%増の40,881トンと初めて4万トンを超えました。中国向けが最も多く、14,643トンで14.7%増、マレーシア向けが61.1%増の12,674トンと続きます。円安の影響で輸出業者の引き合いが続きました。今後の資源リサイクルの行方が心配です。

アルミスクラップ輸出量

(単位トン・前年比%)

	アルミ缶	アルミ缶以外
1月	3,727 (-39.4)	17,903 (+12.8)
2月	5,205 (-12.8)	29,261 (+15.9)
3月	6,246 (-25.9)	32,000 (- 2.2)
4月	5,465 (-23.3)	39,697 (+56.0)
5月	5,616 (-15.7)	31,011 (+16.6)
6月	5,489 (+ 7.1)	33,441 (-15.1)
計	31,748 (-19.6)	183,313 (+10.9)

西尾伝統の秋まつり

- ・10月15日(日) 田貴町神明社
棒の手(愛知県無形民俗文化財)
- ・10月15日(日) 中畑町八幡社
おまんこ祭(西尾市無形民俗文化財)
- ・10月15日(日) 室町神明社
おひつ割り(西尾市無形民俗文化財)
- ・10月22日(日) 吉良町瀬門神社
馬かけ神事
- ・10月22日(日) 天竹町天竺神社
棉祖祭

10月1日～7日

全国労働衛生週間

今年のスローガンは

「目指そうよ二刀流
こころとからだの健康職場」

社内情報

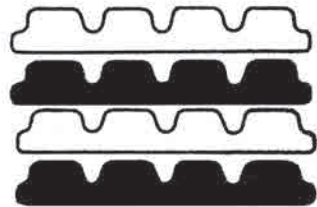
- ◎1頁にご案内の通り、10月13日(金)に恒例のアスカ・セミナーを開催いたします。
- ◎新型コロナウイルスの感染力は衰えを知りませんが、少しずつ平常に近付けて行える様に企画します。
- ◎多数のご参加をお待ちしております。
- ◎中国の不動産大手の経営悪化がささやかれています。中国経済の回復が弱いと世界経済へ与える影響も増します。アスカ・セミナーに期待します。

編集後記

- 「暑さ寒さは彼岸まで」と言う言葉もありますが、今年の夏の暑さは異常に長く続きました。年々暑さ対策に工夫が必要となります。
- 米連邦準備理事会(FRB)は9月20日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利を据え置くことを決定しました。
- 英国も政策金利の据え置きを発表したので、いよいよ日銀の動きに注目が集まります。

アルミ缶リサイクリング
铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>